

「にいがた 3R 推進宣言～資源循環型社会を目指して～」

この番組は、3R について学び大切な新潟の未来について考え、3R 推進に取り組む事業者の紹介を中心に資源循環型社会を目指す、新潟県内の様々な取り組みを紹介する番組です。この度、平成 29 年度新潟県優良リサイクル事業所を受賞した当社が紹介されました。

FM 新潟様
当社

・日立産機中条エンジニアリングはどんな会社か。
弊社は「環境にやさしい製品とサービス」をテーマに、建築・電気・空調設備工事や各種装置の開発及び日立製品の製造受託などの「ものづくり」、新エネルギーや省エネルギーの提案、資源のリサイクルから緑化管理などの「クリーン環境化」まで幅広い分野でソリューションを提案する企業です。

FM 新潟様
当社

・3R 推進のためにどんなことをしているか。
3R については弊社並びに日立グループは企業の社会的責任の観点から、自社で製造した製品をリサイクルすることにより、枯渇する資源の有効活用と、国内循環を推進するため、情報機器を手始めに開始いたしました。これまで皆様のなじみの銀行 ATM と言うと 2007 年から延べ 25,000 台処理しました。

FM 新潟様
当社

・リサイクルを推進するためには、具体的にどんな取り組みが必要ですか？
ATM を例にお話ししますと筐体はオール鉄ですから良質な鉄として価値があります。ユニットは中に鉄以外に非鉄金属等が含まれており、シュレッダー更に鉄、非鉄等細かく分別します。ケーブルは銅の原料、基板類はマザーボード、電源基板、制御基板、メモリ基板、HDD 基板、CPU、ヒートシンク、ファンモータ等種類毎に分けて回収しています。プラスチック類は、単に焼却することなく熱回収認定施設で発電燃料として利用されています。また、焼却後の焼却灰は溶融固化施設にて処理され、その灰は道路の路盤材等に再利用されています。ATM では HDD、紙幣を読み取る鑑別部、鍵等は機密性が非常に高いことから細心の注意を払い、確実に物理破壊を実施。また、取り出した ATM 型式、製番、HDD、鑑別の型式、製番等を記録しエビデンスを保存しています。HDD にはレアアース(ネオジム磁石)が含まれていることから、これを日立グループで脱磁、回収した後再びネオジムとして再生利用しています。

弊社では単にスクラップ処理することなく、分別することで貴重な資源を回収し国内再資源化、廃棄物埋立ゼロに取り組んでいます。

FM 新潟様
当社

・取り組みを通して、今後、どんな社会を作っていきたいですか？
今回の受賞をはずみとし、更に製品の幅を広げ、リサイクル拡大に取り組み、限りある資源の有効活用と、これからの高齢化社会に対応して高齢者の雇用創出という新しい仕事の場へと繋げて行きたいと思っています。

これからも環境という大きなテーマに取り組み、地域と共に歩んでゆく企業でありたいと考えています。